

ノートの取り方を考える

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

(1)「おはようございます」開倫塾塾長の林明夫です。

明日まで北京オリンピックですが、みなさんどのようにお過ごしでしょうか。

(2)「練習は不可能を可能にする」という小泉信三さんという慶応大学の塾長をつとめていた方の言葉があります。やはり練習を一生懸命やったからこそ北島選手みたいに金メダルを2つも獲れるということになるわけです。

「練習は不可能を可能にする」。練習をしなければ金メダルも獲れないし、オリンピックにも出られない。練習をすれば、あらゆる可能性も出てきます。私は「練習は不可能を可能にする」という言葉が好きです。

(3)それからたまたま私は、中学生の時に足利市立山辺中学校というところで、柔道のクラブ活動をやらせていただいていたんですが、そこで「椎名弘先生」という先生が「練習で泣いて試合で笑え」ということを教えて下さいました。「泣き出したくなるような厳しい練習をした者だけが試合で勝ち笑うことができる」ということを教わりました。

(4)また、たまたま中学校2、3年の時のクラス担任の岡田忠治先生が中学ブルドック魂という「くいついたらはなれるな」ということを教えて下さいました。これも、もしかしたらオリンピックの精神につながるかもしれません。ちなみに、岡田先生から女子バスケットを教わったり、コーチを受けた方の多くの方は県大会、関東大会まで出場しました。コーチとしてもすばらしい先生であります。

(5)今日、放送の最初に、明日でオリンピックが終わりますので、オリンピックにちなみ、「練習は不可能を可能にする」と言う言葉と、「練習で泣いて試合で笑え」という話と、それから「ブルドック魂」という話をご紹介させていただきました。

今日は夏休みも最後です。やはり、成績を上げるためにはノートの取り方がとても大切です。今日はノートの取り方を工夫していただきたいので、ノートの取り方について今日はお話しさせていただきます。

2. ノートの取り方を考える

- (1)小学生でも、中学生でも、高校生でも、大学生でも、大人になっても、社会人になっても、それからリタイアしてからでも、大切なことはノートにとって記録しておくということが大切だと思います。そのノートはどのようにとったらよいのでしょうか。
- (2)乱雑にノートを書いている子どもはあまり成績がよくありません。ですから、ノートというものは何でとるかということ、後で読み返すと言うことを前提にノートというものは取らなければいけません。乱雑にノートを取った場合は、後で読み返せるよう「ノート整理」をする必要があります。自分で書いたことを読み返すと言うことが重要です。ノートを取っても後で読み返せなければ、なかなか勉強が進まないということになります。
- (3)ただ注意したいことは、ただきれいにノートをとることが目的になってしまうと、これもまたあまり成績が伸びないということです。ノートをとる目的というのは、後で勉強し直すためです。ノートを用いて後で勉強し直し、頭の中を整理するのがノートをとる目的ということ、まず自覚していただくことが大切だと思います。
- (4)ただ問題なのはですね、学習塾にノートを持ってこない子どもはあまり開倫塾にはいませんが、ノートを持っていかずに学校へ行くことや、学習塾に行くこと、勉強をする場所に行くことは問題です。ノートを持たず、鉛筆だけ持って行き、テキストに書き込んだり、テキストをコピーしてもってきて、それに書き込んだりするのは問題です。ノートを用いず、テキストに書き込んでいる子は、頭の中が整理されていない場合が多いようです。従って成績が伸びないようです。また、コピーにばかりたよっていると成績は伸びません。ぜひ、ノートは科目ごとに1冊は持っていただいて、授業に出る用にしてください。ノートを持たずに授業に出るのは、武士が刀をもたずに戦いに行くのと同じであります。ノートはぜひ持って行ってください。
- (5)それから当たり前のことですが、時間がかかっても、できるだけ手で書いた方がよいです。コンピューター入力をする人がいますが、それは操作が上手な人の話です。コンピューターを持ち歩いて、コンピューターをノート代わりに使うのであれば、コンピューターの操作がうまい方に限ります。少なくともブラインド・タッチができるよう練習しましょう。ちなみに、ブラインド・タッチというのは、手元のキー・ボードを見ないでコンピューター入力ができることをいいます。できれば普通の紙のノートがいいと思います。
- (6)それからノートの取り方ですが、数学などは計算の途中経過も書いた方がよいです。答だけを書いてもなかなかあとで使えるノートになりません。必ず問題も書いて、それから答も書いていた方がよいです。文章問題も簡単にまとめて必ずノートに書く。途中経過も書いておく。最後に答も書いておく。このようにしないとなかなか思考能力というものが養われません。勉強は何の

ためにするのかといえば、基礎知識を理解し、それを定着、身につけるためと、論理的な思考能力を養うためという2つの目的があります。この2つの目的を達成するために、ノートをぜひ大切に使用していただきたいと思います。

(7)それから、簡単な話ですが、算数とか数学に関していいますと、イコールなどは上から下までそろえて書いたほうがいいですね。このこともぜひ、参考にして下さい。

(8)勉強していて、自分がよくわからないところには、わからないマークをつけて下さい。そうすると効果的な復習とか予習ができます。や×印ではなく、自分自身にしか「わからないマーク」を付けていきますと、問題意識が高まります。ぜひそんな形でノートをとって下さい。

3. おわりに

今日は夏休みの最後ですけれども、ノートの取り方についてお話しさせていただきました。どうかみなさんも工夫しながらとって下さい。くれぐれもノートは科目ごとに1冊お持ちいただけるようにお願いいたします。

以上

2008年8月20日加筆